

か ど ひいらぎ  
**香 童 の 校**

No. 24

壬生町立稲葉小学校 学校便り

平成30年1月26日

文責：校長 廣田 昌英

### 危機管理

少々流行に乗り遅れてしまった本校児童、そのインフルエンザ第1号は1月11日、2年生でした。その2年生の出席停止が終わって登校できるようになった途端、今度は1年生が1人、さらにもう1人。おやおや、とうとう本格的に流行しちゃうかなと覚悟したとき、興野先生が「今日から1年生の給食は教室で食べまーす！」と宣言しました。そう、ランチルームでの他の学年の子ども達との接触を避けようとしたのです。さすがに素早い判断です。するとそれを聞いた給食主任の木村先生が「配膳台は隣の教室にあったと思います。確認してくださいね。」、学校栄養士の荒井さんが「調理員にそのことは伝えておきます。」と即座に反応しました。素晴らしいチームワーク。こういう瞬時の判断と行動で子ども達は守られているんですね。おーい、子ども達、インフルエンザに負けないでくれよー！ところで.....ホントに校長の出る幕がない学校ですよ。明日、休もうかなあ。

### インフルエンザと大雪

1年生のインフルエンザの蔓延を防いでいたら、1月22日（月）は5年生で一気に5人の感染が確認されました。これは学年閉鎖かなあ、と覚悟しましたが、鷺嶋先生が学校医に相談したところ、もう1日だけ様子を見ることになりました。ところが、午後から雪が降り始め、翌日は登校時刻を2時間繰り下げる騒ぎに。悪いことって重なるもんですね。

翌日の朝は日直の鷺嶋先生を職員室に残し、子ども達の登校前に職員で雪かきです。本校周辺の道路は、既に地域の方によって除雪済みでした。ホント、ありがたいです。そして、雪かきを終えて職員室に戻ると、

鷺嶋先生が淹れてくださった温かいコーヒーが.....。おいしかったなあ。ホント、ありがたいです。

そして10時前後には子ども達が元気に登校してきました。ある1年生は私に大きな袋を見せ、「雪遊びで濡れちゃったらこの服に着替えるんだよ！」と教えてくれました。なんと準備のいいこと。ビショビショになるのを前提に持ち物を準備してるんですね。ちなみに、河又先生も替えの靴下を3足準備して出勤してきました。なぜ3足なんだ？そしてうれしいことに、インフルエンザ感染者は増えていませんでした。この大雪で湿度が上がった影響もあるのでしょうか。どうやら悪いことが重なったわけではなさそうです。

### 全校雪遊び

インフルエンザ感染者が増えていないことに安心していると、校庭からたくさんの歓声が上がってきました。校長室から廊下に出て校庭を見てみると、子ども達が大はしゃぎで遊んでいます。何年生だろ？あの子は4年、あの子は2年、あの子は.....、え？全学年？そうです。全校児童が校庭で大はしゃぎしているんです。担任の先生も交えて雪玉をぶつけ合ったり、大きな雪だるまを作ったり。真っ白な雪の中でカラフルな服装の全校児童が遊んでいる景色はなかなかの景色ですよ。今度雪が積もったら、保護者や地域の皆様にも是非見物に来て欲しいです。ただし、濡れるのは覚悟してくださいね。たった今知ったのですが、少なくとも1年生の保護者には興野先生が「雪遊びをするので着替えを持たせてください」と連絡してあったそうです。

準備がいいのは担任も同じでした。ん？河又先生、何回雪遊びをする気だったの？